

イベントを通じて、自閉症・発達障がいに対する理解を促進！ 「世界自閉症啓発デー展」を開催

そごう・西武

2017/5/15

7 SEIYUN&AI HLDGS.

CSRアクション

毎年4月2日は「世界自閉症啓発デー」です。自閉症を理解するためのシンポジウムや、シンボルカラーである“ブルー”のライトアップ活動などが世界各地で行われます。

これに合わせ、西武所沢店では4月5日（水）～7日（金）「ブルーの灯りで伝える世界自閉症啓発デー展」を開催しました。イベントホールでは、ブルーの光が照らされる幻想的な空間の中で音楽イベントを開催。他にもセミナーやワークショップの開催、世界各地で行われる活動の紹介などを行い、多くのお客様に自閉症、発達障がいに対する理解を深めていただく良い機会となりました。



西武所沢店
販売促進担当 森下 知佳子

光のオブジェの展示や、世界のブルー活動を紹介する映像を上映



所沢出身のスティールパン奏者「伊澤陽一さん」の幻想的なライブ



スティールパンはドラム缶から作られた音階のある打楽器です。手造りのため一つ一つ音が異なり、奏者によっても音色が変わる個性的な楽器です。今回のイベントのテーマである「みんな違ってあたりまえ」「同じじゃなくていい」と通じるものがあります。

「ひかりのつぼみ」作りのワークショップは親子での参加が多くみられました



中にLEDを入れて作る「ひかりのつぼみ」。首から下げたり、バッグにつけたりすることができます。

予約受付から3日間で150名の満席となった「発達障がいサイエンスカフェ」



感覚過敏の体験を持つ看護師、細尾ちあきさんの講演会は特に関心が高く、講演後のサイン会は長蛇の列。

店内各階の装飾や、従業員着用の胸バッジを通じた啓発活動も行いました



マネキンが着用する洋服や雑貨コーナーの装飾を、シンボルカラーのブルーに統一しました。

関連情報

世界自閉症啓発デー公式サイト
<http://www.worldautismawarenessday.jp/htdocs/>